

テーマ

# “水”と土地由来の観光資源を生かし 心地よい時間を過ごせる阿賀野市

温泉、湧水、阿賀野川の水資源を生かし、「日常以上・観光地未満」の地域活性化

また、阿賀野市独自の魅力的なものにも注目

## 周りの人と考えたこと

- 「阿賀野市でガイドブックを作ったときにどうなるのか？」という視点で考えてみました。
  - ① 阿賀野市内の方が利用し、にぎわうこと。
  - ② 阿賀野市外の方が訪れて、「また来たい」と思い、実際また来てくれること。
- 観光というと大袈裟ですが、そういう**心地よい時間を過ごすことができるスポット作り**が必要だと思いました。

費用、時間が必要な計画

## 温泉・水遊びができる「道の駅」整備

- ・ 温泉水は、五頭温泉郷から購入して給水車で輸送。これで複数の温泉を備えることができます。
- ・ 日帰り入浴のみとし、五頭温泉郷への入り口に。

⇒五頭温泉郷と共存発展。複数の温泉を備えた日帰り入浴施設はないと  
思われます。それもラジウム・ラドン・出湯の歴史などを考えると、  
とても魅力的

すぐにできそう

## 企業の社員研修に農業体験

- お米を商品として販売している企業の社員研修を企画。企業にとっては、商品を掘り下げて考える機会になり、また、コミュニケーション研修として最適。
- 阿賀野市にとっては、お米その他農産物のPRに。

⇒研修の他、収穫祭などお米をメインにしたイベントを多数開催するのも良いのではという意見も。

一定の予算が必要な計画

## “水”の商品化

- ・ 温泉水、湧水の商品化（ペットボトル等）も良い案では。

⇒阿賀野市ブランドとなるのでは

また、温泉水の稲作利用については、大学（別府大学）のレポートもあり、支援・研究の価値があるのではないかと。

予算、先方への協力が必要

## 酒造会社の支援

- ・「新潟」といえば、米・雪・お酒（田村先生が言う越後三白）。そのうちのお酒に注目。
- ・経済的支援よりは人材育成支援が良いと考えます。ブランドとして全国的にも有名な酒造会社に出向等の際の支援を検討するのはどうですか。

⇒将来的に、阿賀野市の観光面にもメリットがあるのでは。

## 歴史的な観光資源の継承

【国指定のものに限定】

- ・瓢湖（国の天然記念物）
- ・無為信寺の所蔵の書跡、古文書（いずれも国の重要文化財）
- ・梅護寺の数珠掛ザクラ（国の天然記念物）

次世代の方々が魅力的なまちづくりとして生かせる継承。瓢湖なら、自然化が必要だと思いました。

⇒その他、例えば「親鸞」にスポットを当て、無為信寺の他、「越後七不思議」梅護寺の数珠掛ザクラ・八房の梅、孝順寺の三度栗（さんどグリ）など、親鸞の足跡（越後七不思議等）を阿賀野市で迎えるイベント。

また、桜・梅・栗をどこかの遊歩道等に植える・増やす取組など。実もなります。桜ならお花見もできます。

## 児童館の整備

- ・ 児童センターもしくはは大型児童館の設置（水遊び場、プール等の設置検討）
- ・ 複合的な施設内に設置。（集まりやすさ、アクセス）
- ・ 子どもと大人が時間を過ごすことが可能。

⇒児童館の意義から、子どもにとっても、親にとっても有意義な施設。複合的施設という意味では、高齢者の住宅、福祉施設なども検討材料でしょうか。

施設ができなくとも陶芸や木工教室のイベントなども楽しそうです。